

看護専門科目	共通基盤看護学					
看護学科	必修	1 単位	演習	平成30年度	後期	3 年次
科目名	共通基盤看護学実習Ⅳ					
担当教員	◎林みよ子 松井利江 小川朋子 森知美					
目的	手術を受ける対象の健康問題に対する反応を理解し、周手術期各時期に必要な看護援助を実践する基礎的能力を習得する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周手術期各期の対象の健康問題に対する反応を統合的に捉えることができる。</li> <li>2. 術前および術後において対象にとって最も重要な看護問題を診断し、その問題を解決するための看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 術前および術後の状態に応じて、対象の心身の安寧を維持できる方法で援助することができる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し計画を修正しながら看護を継続することができる。</li> <li>5. 医療者としての倫理的姿勢をもって行動することができる。</li> <li>6. 看護チームの一員としての自覚を持って行動することができる。</li> <li>7. 自己の看護実践をケースレポートにまとめることができる。</li> </ol>					
他科目との関連	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本科目は、以下の科目のうちの既習内容を基盤とする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共通専門基礎科目のうちの【体のしくみと医療】科目群</li> <li>2) 看護専門科目のうちの【共通基盤看護学】科目群</li> </ol> </li> <li>2. 本科目は、共通基盤看護学実践論Ⅲと直接的に関連している。</li> </ol>					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	実習評価表に記載する看護過程展開項目とケースレポート項目の到達度				0.7
	その他	実習評価表に記載する上記を除く項目（ケア時の配慮、倫理的姿勢・学習の取り組み）の到達度				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	なし					
参考資料	関連科目の講義中に担当教員から配布された資料および提示された参考図書					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に留意し、万全な体調で臨めるように準備する。体調が悪い場合は、必ず実習担当教員に申し出、場合によっては病院を受診する。</li> <li>・共通基盤看護学実践論Ⅲおよび身体のしくみ・臨床薬理学などの既習の学習内容を復習・確認しながら実習に臨む。</li> </ul>					